

～ 命を守る 命をつなぐ ～

防災・減災のしおり

Kikkawa-Jichikai Disaster Prevention and Mitigation pamphlet

制作 吉川自主防災会

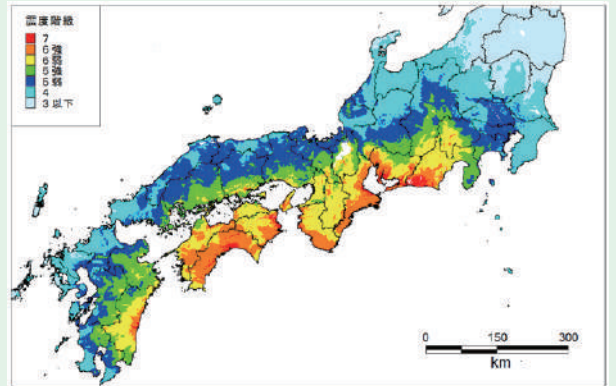
監修 杉山孝之（防災士）・奥山靖司（防災士）

吉川自治会館

はじめに

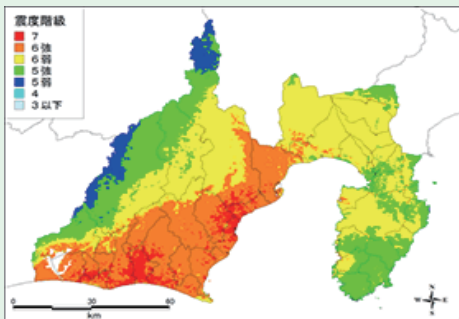
■**東海地震**の想定震源域では概ね 100 ～ 150 年の間隔で大規模な地震が発生していますが、東南海地震（1944）でひずみが解放されず、安政東海地震（1854）から 169 年間大地震が発生していないため、相当なひずみが蓄積されていることから、**いつ大地震が発生してもおかしくない**と言われています。

■**南海トラフ地震**（九州南東沖から駿河湾沖）は、同じく 100 ～ 150 年間隔で繰り返し発生していますが、前回の南海トラフ地震（昭和東南海地震（1944）、昭和南海地震（1946））の発生から 70 年以上が経過した現在では、東海地震に限らず、南海トラフ全域で大規模地震発生切迫性が高まっています。



▲気象庁「南海トラフ地震で想定される震度」より

吉川自治会地域の想定震度と液状化は？

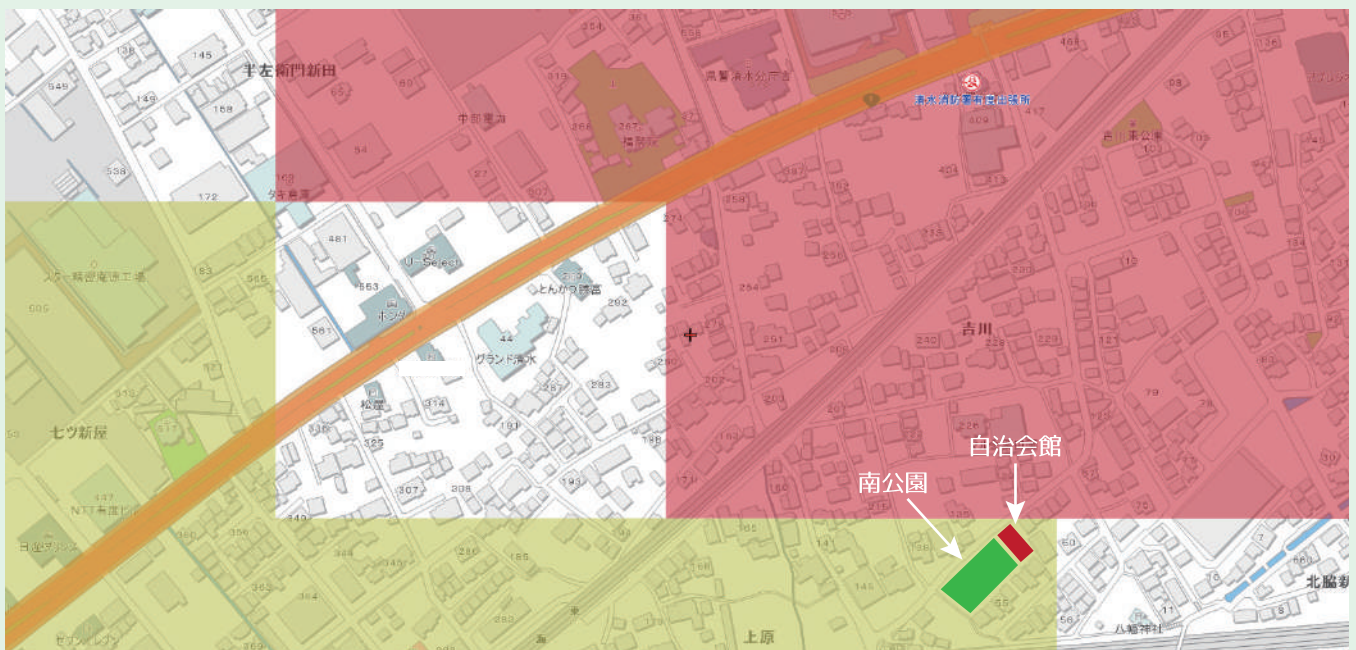


▲静岡県「南海トラフ地震による推定震度」より

■私たちが住む静岡市清水区吉川および半左衛門新田では**震度6強以上**の大地震が発生する可能性があります。ほとんどの地域で液状化の危険性があります。

■危険性がまったく無いとは言えませんが、自治会内で**液状化**が発生しにくい場所は、「半左衛門新田の一部」、「グランド清水」周辺と「吉川八幡神社」周辺地域です。

▽液状化の危険性マップ（赤：危険性は高・緑：危険性は中程度）▽

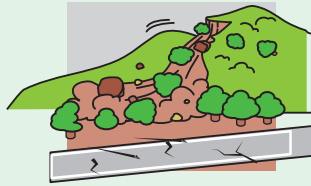


▲静岡市「防災情報マップ」を加工して作成

震度6強の揺れとは？



- ◆はわないと動くことが出来ない、飛ばされることもある。
- ◆固定していない家具のほとんどが移動して倒れる。



- ◆大きな地割れが発生し、大規模な地すべりや山崩れ（山体崩壊）が発生する。

- ◆耐震性の低い木造建物は傾いたり倒れる。



耐震性が高い



耐震性が低い

【自助】 ～命を守る～

このしおりに紹介する自助内容（命を守る・つなぐ）については、すべてが正解ではありません。各個人や各家庭に合った「最適解」を考えて備えと避難行動をしてください。

【みなさんが日常に出来る事】

- ① 備蓄をする ※下記参照
- ② 家具やガラスの安全性を確保する（家具→突っ張り棒や粘着マットを設置するなど、転倒防止対策を施す）
- ③ ガラス→飛散防止フィルムを貼って破片での怪我のリスクを減らす
- ④ 家族間で避難場所・連絡方法などを話し合っておく

在宅避難

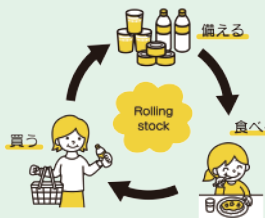
自宅が無事でなんとかしのげる状況であれば、在宅避難をしてください。避難所は建物が崩壊して自宅で過ごせないみなさんが避難する施設です。電気・ガスが止まり上下水道が使えない状況でも、自宅用の備蓄さえしていれば、もしくは自治会館に来て必要な物資（生活用水など）を入手して自宅で過ごせる可能性があります。

【最低5日間、約7日間分の備蓄が必要】

- ① 飲料水は1人1日3リットル分（家族全員分）を確保。
※ウォーターサーバーの設置も便利



- ② 生活用水は水を入れたポリタンクを用意する。
またはお風呂の水を溜めておく。



- ③ 食べ物（レトルトなど）は、普段の生活の中で、少し多めに買って置いて、消費しながら定期的買い足すことで無理なく備蓄ができます。
※お米や乾麺、缶詰など、日持ちのするものが適しています。

- ④ 簡易トイレ（折り畳み便座・汚物処理袋・凝固剤・ペーパー）
※震度5強以上の地震の場合、下水道の破損が考えられるため汚水流水は出来ません。



- ⑤ 調理器具（カセットコンロ・ボンベ、簡易食器（紙皿・スプーンなど）、アルミホイル、食品用ラップなど） ※湯銭調理袋（アイラップなどは安価）は便利

- ⑥ 生活用品（米・紙おむつ・粉ミルク・生理用品・新聞紙・ビニール袋 寝袋・衣類・ドライシャンプー）

- ⑦ 車のガソリンを満タンにしておく

- ⑧ 特に瓦屋根のお宅は、雨漏り対策用のブルーシート



【共助】 避難場所や避難所へ ～命をつなぐ①～



■避難場所（緊急避難場所）は一時的に避難する場所です。安全が確保された公園や自治会館 ■避難所は学校の体育館など

- 自治会館や南公園は避難場所であり避難所ではありません。ご自宅で過ごせる在宅避難や公園でテント避難、車中泊の場合、電気・ガス・水道が止まって生活に必要なことや物資の提供を予定しています。
- ご自宅で過ごすことが出来ない場合は、静岡市が指定する避難所にお世話になります。避難所に指定していた建物の被災や家屋を失った被災世帯の数が多数にのぼった場合、すぐに全員が既存の建物に入所できる保証はありません。仮設住宅ができるまでのしばらくの間、避難場所でテント生活をせざるをえないことも考えられます。
- 吉川自治会の「避難所」は有度第一小学校に指定されていますが、収容人数には限りがあります。



屋外に出る時

身の安全を確保して必ずメインブレーカーを切ることを忘れずに!!

ブレーカーを切っていないと電気が通ったあと、火災の危険性が高まります（通電火災）。電気ストーブ、アイロン等の電気機器の電源が入ったまま再通電したことにより、接していた可燃物を過熱し出火します。



※(例) 電気ファンヒーターの上に服などを吊るしたままだと地震の揺れで服がヒーターに接触し再通電した時に発火します。

水害の場合は分電盤・家電等の電気機器の基盤が水に濡れたことによってできた想定外の電気回路に通電したことにより、短絡（ショート）やトラッキング（埃や結露などの影響）が発生し内部から出火します。



【非常持ち出し品】 ～命をつなぐ②～

【最低7日間～約21日間分（防災バッグの中に）が必要】

① 救急セット（常備薬・絆創膏・消毒薬など）・医療機器類

※かかりつけ医療機関の連絡先などを書いたメモ・薬の処方箋など症状を伝えただけで日頃使っている薬が処方されるとは限らない

② 日常生活用具（メガネ・入れ歯・粉ミルク・紙おむつ・生理用品・杖・など）

③ 衣類（防寒具なども）アルミシート・下着類・タオル・ティッシュペーパー・マスク・体温計

④ 口腔ケア用品（歯ブラシなど）

⑤ 貴重品（現金、預金通帳、健康保険証など）

⑥ 携帯ラジオ（乾電池含むFMとAMの両方が便利）

⑦ スマートフォン・懐中電灯（乾電池）・マッチ・ライター・雨具（合羽）



便利な防災用品





【共助】自治会の防災・減災活動

【日常の活動】

1. 防災知識の普及・向上・各世帯の安全点検啓発
2. 地域の災害危険箇所の把握
3. 防災訓練（救護救助など）の実施
4. 防災資機材・備蓄品等の整備点検
5. 元看護師さんへの声掛け
6. 外国人の対応（通訳の選任）
7. 災害情報の収集・伝達方法の紹介

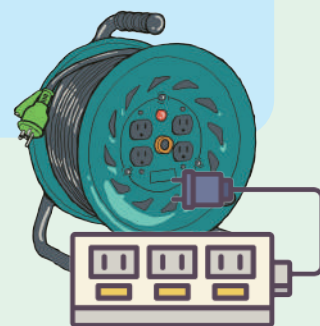


早期に備蓄品と設備の充実を図ります



- ① スマートフォンの充電設備（電源タップ・充電ケーブル3種）
- ② 備蓄倉庫の設置
- ③ 備蓄品の購入（薪・米・水・紙おむつ・粉ミルク・アルミシート
乾電池・生理用品など・燃料（ガソリン・灯油））
- ④ プロパンガスの調整器・ホース・コンロ
- ⑤ 井戸水の確保（井戸水利用世帯の承諾）

※備蓄品の消費方法（防災訓練やお祭りなどで消費と補充）



【発災後の主な活動】



1. 生理め世帯の救助・搬送・救護など
2. ケガ人の救護・救護所への搬送
3. 炊き出しなどの配給
4. 情報収集ツール（スマートフォン・パソコン）の充電
5. ローリータンク（200ℓ～400ℓ）に井戸水利用世帯から貯水して生活用水を給水
6. 自治会館での少人数避難生活（集会室は間仕切り可能）
7. 座布団は約100枚備蓄あり
8. ガスはプロパンガス使用（プロパン用コンロ2つあり・大鍋各種あり）
9. 外トイレ開放 ※下水道管が破損している場合は使用不可



※下記資機材が格納されています

【共助】自治会内6カ所の防災倉庫



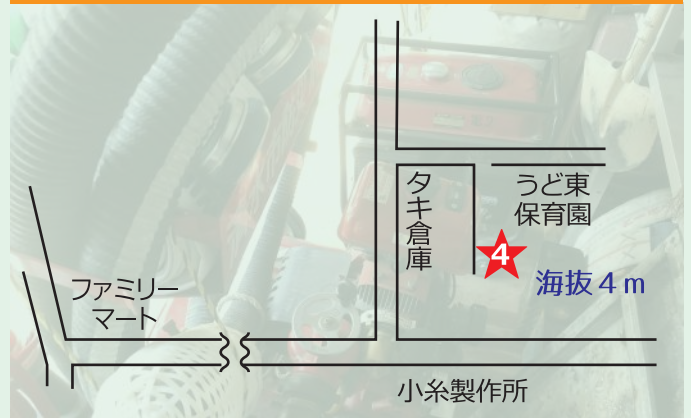
可搬ポンプ・ホース・筒先・発電機・コードリール・コード（100V）・投光器・LED投光器・担架・大ハンマー・平バール（大中小）・ボルトクリッパー・ジャッキ（油圧式・手動式）・大斧・ナタ・ツルハシ・スコップ・一輪車・燃料（ガソリン・混合）・バケツ・スルーシート・懐中電灯・乾電池（単一・単三）・釜戸・もろ箱・長テーブル・パイプ椅子・テント・簡易トイレ・ポリタンク・リヤカー・チェーンソー・拡声器など

【共助】 防災倉庫の位置図

<第3防災倉庫> 静岡ワイヤーハーネス 隣



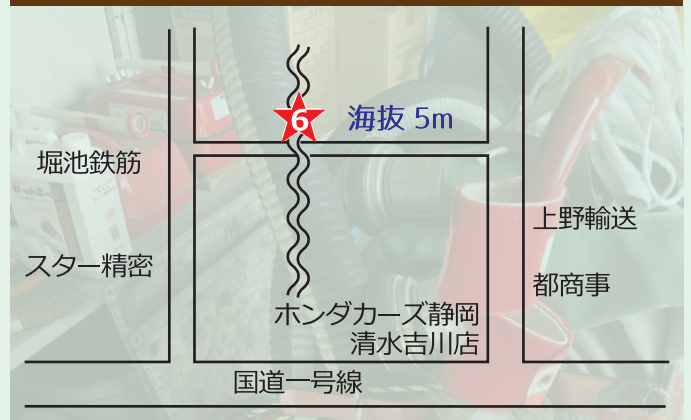
<第4防災倉庫> うど東こども園 隣



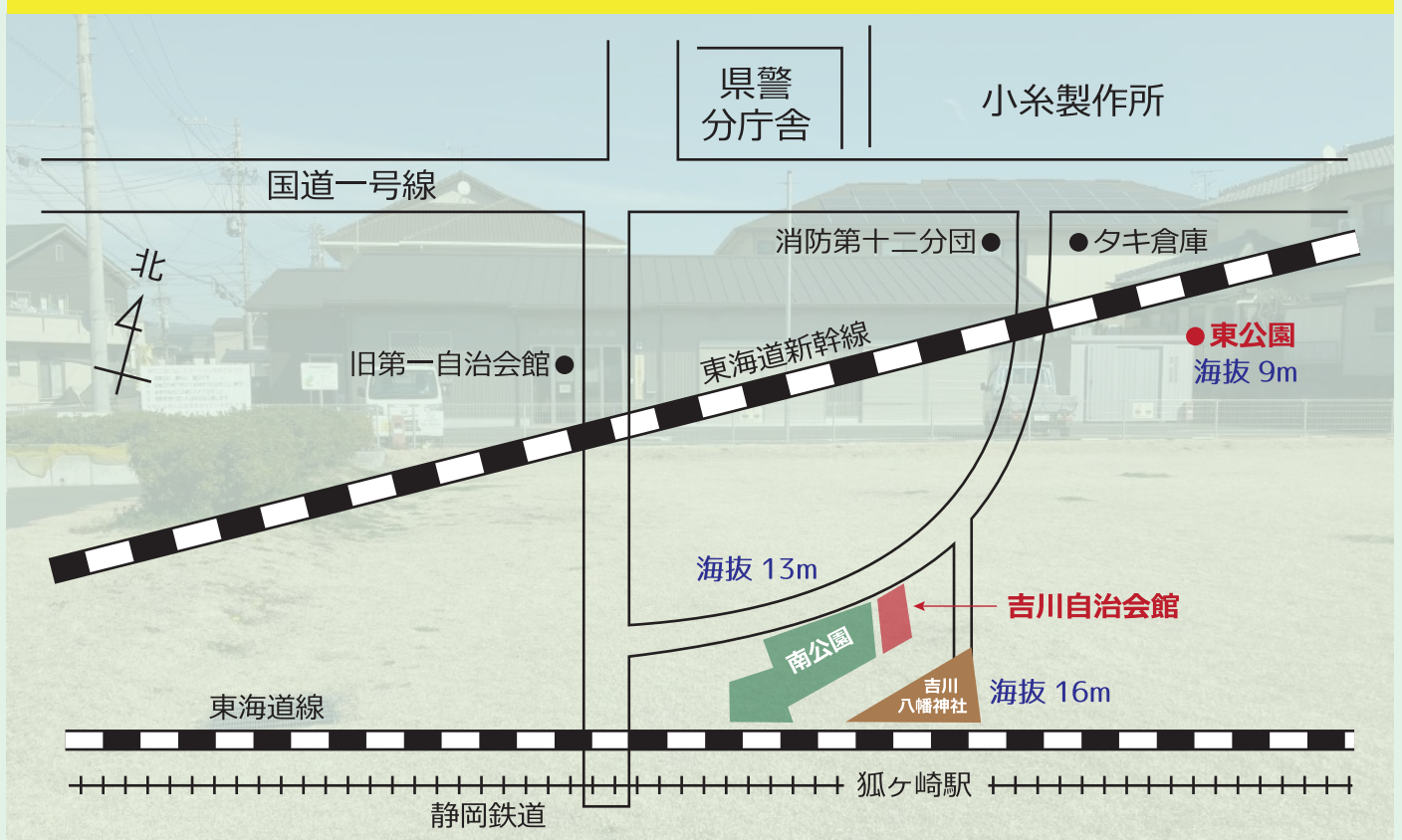
<第1・2・5防災倉庫> いずれも貯水槽の隣



<第6防災倉庫> 半左衛門新田地域 (水路上)



<一次避難地> 吉川南公園・吉川八幡神社・吉川東公園・吉川自治会館



【共助】 ペット同伴避難について

1. ペット同伴の避難については、当自治会では対応できません。静岡市ホームページ「**ペットの災害対策**」をご覧くださいか、パンフレットを PDF ファイルでご覧いただけます。直接お電話でお問い合わせする場合は、静岡市動物指導センター（清水区担当：054-354-2403）にお問い合わせください。
2. 自治会館に隣接する吉川南公園および自治会館は、テント泊などの避難場所になりますので、**公園内や自治会館駐車場でのペットの散歩は出来ない**と考えてください。（吉川東公園は状況により現在検討中です）

ペットの災害対策：https://www.city.shizuoka.lg.jp/016_000002.html ▶▶▶



◀◀◀ パンフレット (PDF ファイル)：<https://www.city.shizuoka.lg.jp/000958201.pdf>

【共助】 車中泊・テント泊避難について

<車中泊>

1. 車中泊で避難生活をする場合、必要なものは自宅保管の備蓄品や非常持ち出し品（防災バッグなど）の中身がほとんどですが、その他の必需品として考えられるのは、アイマスク・使い捨てカイロ・燃料（ガソリン・軽油）やポータブル電源・ソーラーパネルの充電キットなど。**携帯用トイレや簡易トイレの備えも必須**です。
2. ただし、特に気をつけていただきたいのは、長時間身体を動かさず血流が悪くなって、**血栓が生じ呼吸困難や動悸（どうき）を起こす危険性がある「エコノミークラス症候群」**です。この疾患を予防するため**「適度な運動・足を下げて寝ない・水分の定期的な摂取・ふくらはぎのマッサージなど」**の対策を必ず取ってください。



<テント泊>

テント泊の場合、車中泊での持ち出し品と相違はありませんが、ご自身・ご家族に合った避難を心掛けてください。テント設置にご自宅の庭や駐車場などが考えられますが、**建物の倒壊など十分に気をつけてください**。また、ご自宅周辺にテント泊のスペースがない場合は公園なども候補地として考えられますが**スペースに限りがある**ことをご承知おきください。

【共助】 要支援者の避難支援について

吉川自治会では、**民生委員が中心**となり、**要支援者の把握**をしています。災害時には**自治会と自主防災会が民生委員と情報を共有して避難支援**を行います。



安全が確認され自宅が無事	安全が確認されたが自宅の倒壊などで在宅避難出来ない	救助が必要
日々の声掛けはします 在宅避難をお願いします	避難所への避難支援をします ※この場合、有度第一小学校が主な避難所になります。万が一、避難所が定員オーバーの場合は自治会館に一時的に避難をしながら、順次、静岡市や社会福祉協議会が提供する施設に避難していただきます。	◆救助後にケガをしていないと判断した場合は、 避難所への避難支援 をします。 ◆救助後にケガをしていると判断した時は、 救護所のある避難所へ避難支援 をします。

【災害防災情報について】

安否確認タオルの活用

地震発生後、安全が確保され次第、**黄色のタオルを玄関ノブや門扉など外から目視できる場所**につけてください。タオルは自治会員全世帯には配付してありますが、新規に加入されまだ受け取ってない世帯は隣組長にお申し出ください。また、配付したタオルを紛失された世帯は、色は指定しませんので代用のタオルをご使用ください。

行政の支援は？

2022年9月の台風15号による水害では、吉川自治会内で60棟以上の床上浸水の被害がありました。自治会では軽トラック2台を利用して、延べ10日間かけて被災した家屋から災害ゴミを回収し南公園に分別集積しましたが、集められた災害ゴミを行政が回収に来たのは、そのあとでした。

このことから予測できるように、**行政（静岡市）が発災後、本格的な支援を始めるのは3日～7日後から**と言われています。地震災害では、職員が被災している場合や資機材搬出や道路状況などの影響で時間がかかる場合はそれ以上と考えておきましょう。したがって、**最低7日間は自ら耐えなければならない**ことを覚悟しておいてください。

■吉川自治会LINE公式アカウント

災害時の自治会の対応や風水害の可能性のある天気予報情報などをいち早く発信しています。2022年9月の台風15号関連の情報を上陸前の注意喚起から水害後の対応を静岡市より早く発信しました。



■吉川自治会公式ホームページ <https://www.kikkawa-jichikai.net/>

◀◀◀ 災害の他にも自治会からのイベント案内およびお知らせ、組長会の回覧資料の閲覧、自治会内の道路工事による交通規制情報、ピンカン等資源ごみの期日などを掲載しています。

■静岡市LINE公式アカウント https://www.city.shizuoka.lg.jp/556_000495.html

■NHK ニュース防災アプリ https://www3.nhk.or.jp/news/news_bousai_app/index.html

■南海トラフ地震関連情報 <https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

■静岡県総合防災アプリ <https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/bosaijoho/bosaiapli/index.html>

各種緊急情報の通知から、ハザードマップの確認、平時の防災学習や避難トレーニングまで、災害時に幅広く役立つ機能を備えたスマートフォン向けアプリです。

※上記4件のサイトは右のQRコードにまとめてあります ▶▶▶



< 出典 > ☆気象庁「その震度どんなゆれ？」<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kaikyuhyo/index.html> より
☆気象庁「南海トラフ地震ーその時の備えー」<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/index.html> より
☆静岡県ホームページ「南海トラフ地震による推定震度」より
☆気象庁「南海トラフ地震で想定される震度」より

自分が生き抜く 家族を助ける 隣人を助ける 地域を助ける

吉川自治会「防災・減災のしおり」 ～ 命をまもる 命をつなぐ ～

【企画・発行・編集レイアウト】 吉川自治会 〒424-0055 静岡市清水区吉川62-9 E-mail : kikkawa.jichikai@gmail.com